

政策目標 10 海上における治安の確保

海上における犯罪の危害から生命、財産の安全の確保が図られること

(1) 海事保安強化のための基盤システムを構築する

船員手帳等の船員データの電子化のための技術開発を行い、手帳交付手続等の効率化と海事保安の強化を図る。

船員データの電子化等による海事保安強化のための基盤システムの精度

- 業績指標 : 誤認率 (他人受入率) 目標値 : 0.001%以下 (H17 年度)
- 業績指標 : 誤認率 (本人拒否率) 目標値 : 0.5%以下 (H17 年度)
- 業績指標 : 船員手帳交付手続所要時間 目標値 : 10 分以内 (H17 年度)
- 業績指標 : バイオメトリクス情報の登録時間 目標値 : 45 秒以内 (H17 年度)
- 業績指標 : バイオメトリクス認証時間 目標値 : 10 秒以内 (H17 年度)

○業績指標 : 誤認率 (他人受入率)

(指標の定義)

試行的導入時にバイオメトリクス情報を用いた個人認証を行い、その際、本人以外の不特定の者を当該本人と認識したものの率
 *バイオメトリクス情報: 生物の種々の現象を測定し、変異の状態を統計的に処理した情報
 (目標値設定の考え方)
 誤認率 (他人受入率) を 0.001%以下とする。

過去の実績値 (年度)

H12	H13	H14	H15	H16
				—

○業績指標 : 誤認率 (本人拒否率)

(指標の定義)

試行的導入時にバイオメトリクス情報を用いた個人認証を行い、その際、本人を当該本人と認識しなかったものの率
 (目標値設定の考え方)
 誤認率 (本人拒否率) を 0.5%以下とする。

過去の実績値 (年度)

H12	H13	H14	H15	H16
				—

○業績指標 : 船員手帳交付手続所要時間

(指標の定義)

試行的導入時に、電子化された船員手帳の交付手続に要した時間
 *船員手帳: 船員の身分を証明する手帳
 (目標値設定の考え方)
 船員手帳交付手続所要時間を 10 分以内とする。

過去の実績値 (年度)

H12	H13	H14	H15	H16
				—

○業績指標 : バイオメトリクス情報の登録時間

(指標の定義)

試行的導入時に、バイオメトリクス情報の登録に係る事務処理時間
 (目標値設定の考え方)
 バイオメトリクス情報の登録時間を 45 秒以内とする。

過去の実績値 (年度)

H12	H13	H14	H15	H16
				—

○業績指標 : バイオメトリクス認証時間

(指標の定義)

試行的導入時に、バイオメトリクス情報を用いた個人認証を行い、その認証結果が確定するまでの所要時間
 (目標値設定の考え方)
 バイオメトリクス認証時間を 10 秒以内とする。

過去の実績値（年度）				
H12	H13	H14	H15	H16
				—

主な施策

主な施策の概要

- ① 平成 16 年度及び平成 17 年度の 2 カ年の事業とする。
- ② 平成 16 年度においては、バイオメトリクス情報の読み取り装置、船員手帳の発給システムなど、船員手帳等の電子化のためのシステムの検討・設計を行う。
- ③ 平成 17 年度においては、16 年度において設計したシステムについて試行的導入を行い、実際に船員に使用してもらうことにより、本人確認の確実性、船員行政の効率化の検証を行う。
- ④ なお、実用化については、国際動向を踏まえつつ平成 18 年度以降に検討を行う。

予算額：約 1.2 億円（H17 年度）

測定・評価結果

目標の達成状況に関する分析

（指標の動向）

- ・ 試行的導入は未実施であるため、不明。

（施策の実施状況）

- ・ 船員手帳の試作品の選定やシステムの基本設計は計画通り終了した。

今後の取組の方向性

- ・ 今年度は、約 1000 人を対象に、船員の指紋（左右両手の人差し指）情報を 2 次元バーコード（PDF417）として登録、認証確認などの実証実験を行う。

平成 17 年度以降における新規の取組

- ・ 今年度は、約 1000 人を対象に、船員の指紋（左右両手の人差し指）情報を 2 次元バーコード（PDF417）として登録、認証確認などの実証実験を行う。

担当課等（担当課長名等）

担当課：海事局船員労働環境課（課長 後藤洋志）